



先輩職員インタビュー

「様々な挑戦の機会と出会いが待っています」



行政事務

所属

会津若松建設事務所 総務部 用地課

● これまでの経歴(所属年度)

H23~H25 宮下病院 事務部
H26~H27 会津大学 学生部 学生課
H28~H31 こども未来局 児童家庭課
R 2~ 会津若松建設事務所
総務部 用地課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 当事務所では、会津地方における道路や河川、砂防施設等の整備を行っており、私はそれら公共事業に必要な用地の買収を担当しています。専門的な知識やコミュニケーション能力が求められる難しい仕事だと感じていますが、経験豊富な上司をはじめ同僚と相談、協力しながら業務にあたっています。公共事業においては「用地が決まれば9割完了」と言われるほど重要な役割を担っており、とてもやりがいのある仕事です。

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 採用から約10年、様々な仕事を経験してきました。「行政事務」という職種は、業務内容が多岐に渡り、新しい仕事に挑戦する機会がたくさんあります。変化に適応するのが難しい時もありますが、成長のチャンスと捉えるようにしています。

業務内容や勤務する場所に関わらず、自分に求められる仕事に誠実に取り組み、ひとつ、ひとつを積み上げていくことが県職員としての私の目標です。それが「福島県」のよりよい未来に繋がればと考えています。

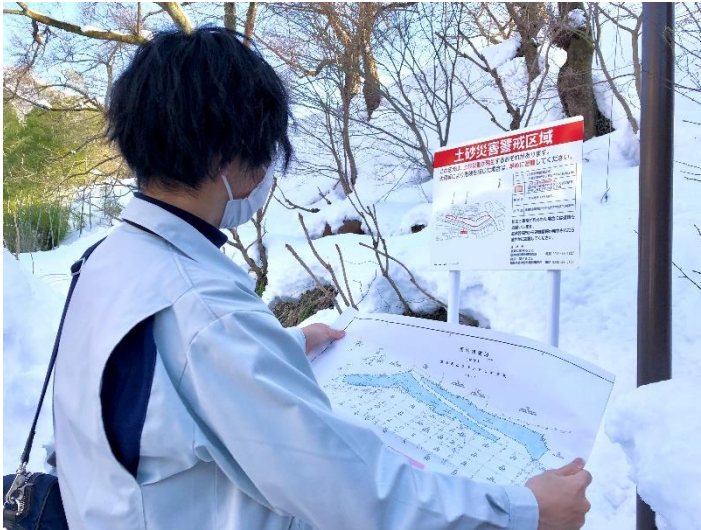


↑ 用地取得工程について課内で打合せをしています。



Q. 仕事をする上で心がけていることは何ですか。

A. 自分一人のできる仕事は限られています。上司や同僚はもちろん、国や市町村職員の方、民間企業の方など様々な人と関わりながら進めていくものだと思います。いつも相手を敬う気持ちを忘れずにいようと心がけています。



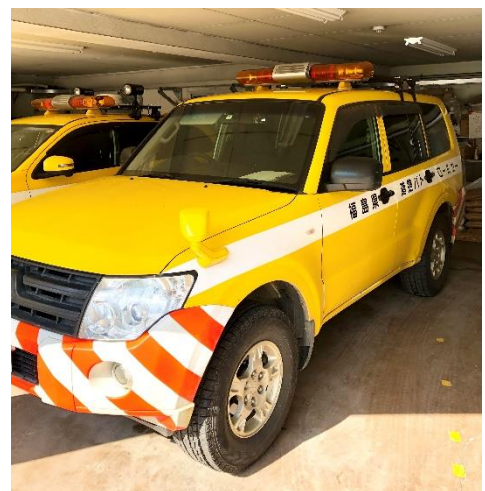
↑急傾斜地崩壊対策事業の工事箇所を確認している様子です。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「子ども」「パパ」「会津の日本酒」「スノボ・雪遊び」

Q. 「子ども」「パパ」について教えてください。

A. 5歳の男の子のパパです。単身赴任も経験しましたが、今の所属になり、家族と一緒に暮らすことができるようになりました。早く帰れる時は早く帰り、家族と過ごします。その時間が日々の癒やしで、仕事のモチベーションになっています。



↑管内の道路パトロールに同行することもあります。

Q. 「会津の日本酒」について教えてください。

A. 福島県は全国新酒鑑評会で金賞受賞数8回連続全国1位となっている「日本一の酒処」です。中でも会津地方にはおいしい日本酒がたくさんあり、よく仕事終わりに買って帰り、おうち時間に楽しんでいます。